

静岡県地学会のあゆみ(95)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-03-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00024799

静岡県地学会のあゆみ (95)

会誌の発行：6月22日、「静岡地学」第95号を発行。地学散歩(75)、研究・報告(4編)、活動報告(1編)、静岡大学通信(11)、静岡県地学会のあゆみ(94)、編集委員会からのお知らせを収録(総頁数41)。

第44回総会：6月17日、旧中部健康福祉センター庵原分庁舎(静岡市清水区辻4-4-17)に於いて開催。2006年度活動報告、一般および特別会計の決算報告・監査報告を異議なく承認。2007年度活動計画および一般会計予算案、2007年度役員・委員案、会則案を原案通り可決。

第44回総会記念講演：6月17日、第44回総会に先立ち、総会会場で開催。藤村彰夫博士(宇宙航空研究開発機構)による「日本と世界の月探査」と題した講演会を行った。参加者40名。

第155回運営委員会：6月17日、(1)第44回年会について協議。期日は、第一希望；11月25日(日)、第二希望；11月23日(金・祝日)、第3候補；11月18日(日)とした。会場は、浜松科学館とした。特別講演は、第1候補；地震関係、第2候補；放散虫関係、第3候；環境関係とした。講演者は、地震関係については、静岡大学の藤井直之客員教授に依頼することにした。(2)GEO DATAの進捗状況の報告があった。東部支部：柱状節理および溶岩樹形の調査を継続中であるが、データのデジタル化は未着手であるとの報告があった。中部支部：糸静線、十枚山断層の調査を継続中で、今後は、枕上溶岩と長島会員の試料のデジタルデータベース化と付加体の調査を予定しているとの報告があった。西部支部：石灰岩および天体の調査を継続中で、随時デジタルデータベース化を行っているとの報告があった。各支部の進捗状況の報告の後、今後の予定について協議し、今後はデータの共通化を図り、データの揃ったものからホームページに載せることになった。(3)当会の封筒作成について協議し、色は黄緑色(静岡地学の表紙の色)とし、定型封筒(総会・年会案内送付用の封筒)および定形外封筒(会誌送付用の封筒)を各2000枚(約4年分)作成することにした。レイアウトは印刷会社に依頼し、次回の運営委員会で協議することになった。(4)ロゴマークの利用方法は、「静岡地学」またはホームページに掲載することにした。(5)池谷前会長を名誉会員に推戴することにした。(6)10月20・21日に中部・西部支部合同で長野県大鹿村の巡検会を予定しているとの連絡があった。(出席委員：狩野・道林・楠・島田・和田・生形・浜田・斉藤俊・松本・久保田・加藤・今村・森田)

東部支部活動：8月19日、南伊豆の巡検会を実施(案内；山本利興会員、参加者9名)。

中部支部活動：7月16日、中部支部運営委員会を実施。8月11・12日、ペルセウス座の観察会を松野小学校で実施(参加者40名以上)。

第156回運営委員会：9月2日、(1)活動報告：各支部の総会以降の活動報告があった(詳細は各支部活動を参照)。(2)第44回年会：日時を11月18日(日)10時からとし、会場を浜松科学館とした。特別講演の講師を藤井直之先生(静岡大学客員教授)とし、演題は未定だが、地震関係の講演していただくこととした。会員発表は4件を予定(あと1件追加可能)。(3)県地学会専用封筒：あらかじめ庶務委員がデザインしたものをもとに協議した。その結果、白黒のロゴマークを静岡県の外形を黒線にして、内側を白抜きにすることにした。また封筒にロゴマークを大きく掲載することにした。その他E-mailアドレスは掲載しなくても良いのではないかという意見があった。(4)GEO DATA：東部支

部；現在未だデータ収集の最中。中部支部；十枚山構造線のデータをCD化する予定。断層の調査を進めつつある。西部支部；鉾山跡の調査を開始。今後の予定として、来年度くらいに、GEO DATAのための追加予算をつけるか否か検討することになった。第44回年会で収集したデータを展示することになった。(5) その他：高校生にポスターを展示する機会を与えると良いのではないかという提案があり、第44回年会に向けて高校に呼びかけることにした。GEO DATAと高校生の展示場所は、第44回年会担当の西部支部で確認することになった。また、「第2回青少年のための科学の祭典」(御殿場)における富士山に関するブースへの協力要請が東部支部にあった。(出席委員：狩野・道林・島田・浜田・斉藤敏・斉藤朗・松本・坂田・加藤・今村)